



発信日：2015-02-25

火災保険が大きく変わります！！ この機会にぜひ、ご自宅の火災保険を点検ください。

平成 27 年 10 月から保険期間 10 年超の契約が廃止になります。

これは、昨今の自然災害リスク（台風や大雨等）の増加や激化に伴い、長期的にリスクを把握することが困難と判断されたためですが、**実質、このことは値上げと同じこと**なのです。

火災保険は長期契約が多いため、自動車保険のように内容をこまめに点検することが少なく、内容を把握されてる方はあまりみえないでしょう。

しかし、ここに盲点があります。

ある条件に当てはまる方は、値上げされてる中でも乗り換えることによって、メリットが出ることがあるのです。

一度点検されたほうがいい方は、おもに次のような方々です。



- 住宅金融公庫の特約火災保険に加入されてみえて残りの期間が短くなってきた方
- 積立火災保険（共済）などで掛け捨て部分の保険料を計算すると割高な方
(おもに、JAの建物更生共済などに多くみられます)
- おもに木造住宅で、2009（平成 21）年 12 月以前に 10 年超の長期契約で加入された方
- 時価ベース・価額協定保険特約付の過去の火災保険に加入されたままの方

注) 金銭的なメリットに限らず、補償内容が脆弱なものも含まれております。

乗り換えることによってこんな例も・・・。

ある大手損保で 36 年契約をして、その 3 分の 1 の 12 年で中途解約すると、一括払いした保険料の **73%相当**が戻り、12 年契約の期間満了よりも有利な条件で解約できる場合がある。(詳細下図)

長期契約を中途解約すると節約になる場合も

	契約時の一括払い 保険料	戻る保険料	差し引きの 支払保険料
36年契約を12年で 中途解約する	1年契約の25.34年分 (30%割引)	約18.50年分 (一括払いの) 約73%相当	6.84年分 (43%割引)
12年契約を期間満了 で更新しない	9.77年分 (19%割引)	—	9.77年分 (19%割引)

(日経新聞Web版
2014/11/09 19:00 掲載記事より)

(注) 大手損保の例。インフレ率などを考慮しない単純試算

そして再度、残りの期間を長期契約することにより、トータルで数万円浮くことも。

メリットが必ず、出るとは限りません。ご相談・シミュレーションは無料でおこなっております。

お問い合わせは下記まで！！

リップ ラボ (独立系FP事務所&乗合生損保代理店)

〒504-0861 岐阜県各務原市東山 3-31 TEL 058-372-9181 メールアドレス: rip-labo@financial-dock.com

* 事務所不在の際、担当者の携帯電話に転送される場合がございます。あらかじめご了承ください。